

利用者様が主役

鯉のぼり運動会



こちらが勝つわよ!

楽しむだわー

二人井
まわすの

彼の同僚はバイキング
になっております。
いろんなメニューを
考えてますのでお楽
しみに!!

～コロナウイルスによる制限について～
5月末で県独自の緊急事態制限が解除されたことを受け、当施設の面会制限を解除するか否か現在、検討をしている段階です。ご家族に会えない利用者様の不安やストレスも高まり続け、ご家族さまも一日でも早く面会させてほしいと言われる方がいらっしゃる一方、感染状況が完全に落ち着くまで制限して欲しいと願う方もいらっしゃいます。どちらのお気持ちも十分に理解しております。利用者様のワクチン接種も順次始まっており、スタッフの接種も6月より順次行う予定です。県内の感染状況とワクチンの接種状況を鑑みながら決定していきたいと思っておりますので、今しばらくお待ちください。一日でも早く、元の当たり前の生活に戻れますように、、、。

令和3年5月31日 有限会社 聖 代表取締役 池田 豪

私たちが提供する仕事の価値を高めよう

社是
「利他の心」
～ 利用者様の幸福、
そして全従業員の幸福を
追求する ～

ひじりにズームイン

2021年
6月号

聖の3K(希望・輝き・感動)実現委員会

☆現在の活動メンバー。

11名の活動メンバーがいます。ケアタウン飛鳥から4名、訪問看護ステーション翔から2名、さくら荘から3名、事務所から1名、ケアサポートセンターひじりから1名となっております。

☆令和3年度、長期目標。

コロナ禍でもモチベーションアップできる職場環境を作っていく事を目標としています。

☆具体的な活動内容について。

職員の満足度を調査したり、Facebookの更新、交流事業などを企画し運営する事を主に行っています。

☆ひとこと。

会社の皆さんと色々な事を模索、挑戦してより楽しんで仕事も行えたら、よりよい仕事もできると思うので委員会で検討してモチベーションアップに繋がる事を見つけていきたいです。

有限会社 聖

住宅型有料老人ホーム ケアタウン飛鳥
住宅型有料老人ホーム ケアホームさくら荘
デイサービス陽だまり (通所介護)
訪問看護ステーション翔 (訪問看護)
ケアサポートセンターひじり (居宅介護)
ケアセンターさくら (訪問介護)



ケアセンターさくら便り
今年に入り新しく入社した職員が数名いますが面会制限のため、ご家族の皆様には、名前ですが、紹介致します。
さくら荘 佐藤 明子さん
温水 真利恵さん
ケアタウン飛鳥 大久保 利彦さん
刀坂 武史さん
有馬 康枝さん
よろしくお願ひします。

すぐやる！よく見る！考える！



5月9日



訪問看護ステーション翔からのお知らせ
 6月に入り、「梅雨シーズン」になりました。梅雨の時期には、様々な体調不良に悩まされることはありませんか？実は、梅雨の時期は、体調を崩しやすい気候になっています。多くみられる体調の変化として、倦怠感・頭痛・めまい・むくみ・便秘・食欲不振などがあげられます。乗り切るポイントとしては、①規則正しい生活と良質な睡眠 ②適度な運動 ③疲労回復に効果的なくビタミン類を多くとることなどです。健康管理には、十分に留意してください！



元気ハツラツ！陽だまりC！ ～ C=ケア、コミュニケーション、チャレンジ ～

陽だまりかるた

<p>④ き</p> <p>さあ、あいを入れて倒すぞ！</p>	<p>⑤ う</p> <p>うたを歌ってストレス発散！</p>	<p>⑥ ふ</p> <p>したりで相談しながら作品作り</p>
<p>⑦ あ</p> <p>あなたに贈るよ花折り紙を</p>	<p>⑧ こ</p> <p>頑張りまかせ作業</p>	<p>⑨ ひ</p> <p>ひと筆ごとに思いを込めて</p>
<p>⑩ い</p> <p>いまからおやつを作りましょう！</p>	<p>⑪ す</p> <p>すてきな笑顔でランラン♪</p>	<p>⑫ お</p> <p>お手通りに書けるかしら</p>
<p>⑬ て</p> <p>てづくり風車すてきでしょ？</p>	<p>⑭ た</p> <p>たいそうで心も体もリフレッシュ</p>	<p>⑮ か</p> <p>かたをもみもみ気持ちがいいわ</p>
<p>⑯ さ</p> <p>さかな釣り何匹釣れるかな？</p>	<p>⑰ む</p> <p>むちゅうで金魚をすくいます</p>	<p>⑱ わ</p> <p>わたしが釣った金魚です★</p>

ケアサポートセンターひじりからの介護保険便り
 ケアマネジャーの仕事のひとつに、担当利用者さんが入院された際、入院先に必要な情報※を伝える“入院情報連携”があります。より早く情報を提供することで、病院職員はスムーズに治療を開始できます。また、以前、看護師さんから「入院前の生活を知ること、退院後の生活もイメージしながら看護ができる」と聞いたことがあります。“入院情報連携”は、退院後に、その方らしい、望む生活が再開できる大切な仕事と感じています。